

# 古鏡 KOKYO —その神秘の力—

新しく発見された画像鏡など、中国鏡の優品100面初公開！



弥生時代に大陸から伝來した鏡は、光輝を放つ性質から神聖なものとみられると同時に、中国王朝の権威を象徴する、舶載の貴重な財として取り扱われました。古墳時代になると、倭王権から大豪族へ、さらには地域首長へと贈与が繰り返され、各地にひろがっていきました。そして、当時の人びとの心性と深いかかわりをもつ、鏡をめぐる独特の文化が成立しました。

本企画展では、この鏡にスポットをあて、中国における鏡の誕生とその展開、日本列島の社会のなかで鏡が果たした役割とその歴史、さらには鏡をめぐる心性の歴史を、初公開を含む200面の鏡で紹介します。

記念講演会、古代鏡の紋様を復元する体験型講座や鏡作りのイベントなども予定しています。

- ・会期：平成27年10月10日（土）～  
11月23日（月・祝）
- ・会場：川崎市市民ミュージアム  
企画展示室1
- ・開館時間：9：30～17：00  
(入館は16：30まで)
- ・休館日：毎週月曜日（ただし10月12日、  
11月23日は開館）、祝日の翌日
- ・観覧料：一般500円、大学生・高校生・65歳以上400円、中学生以下無料
- ・主催：川崎市市民ミュージアム
- ・後援：神奈川県教育委員会、  
川崎市教育委員会

## 《お問い合わせ》

川崎市市民ミュージアム 企画広報担当／馬場・御簾納  
〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2  
tel:044-754-4500 fax:044-754-4533  
ホームページ：<http://www.kawasaki-museum.jp/>

